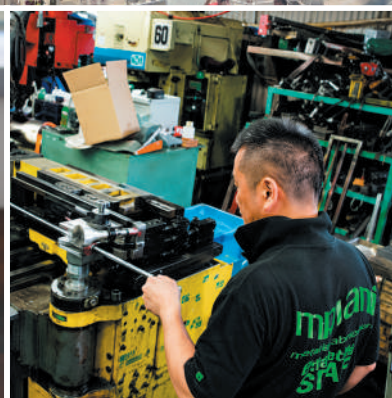
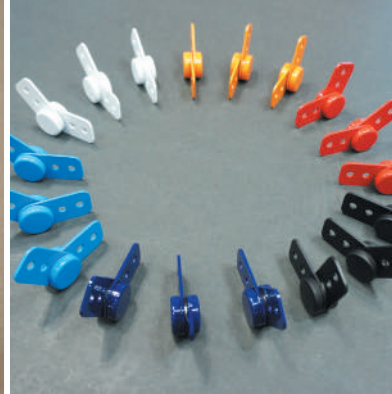
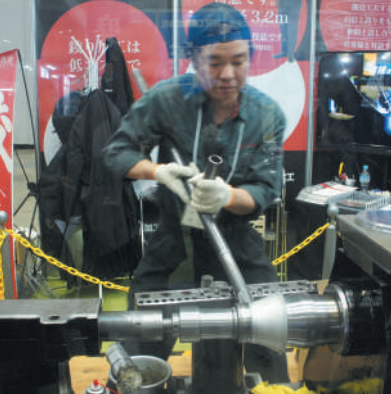




## 目次

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| 市工連 理事会・総会を開催.....                     | 1  |
| 横浜市工業会連合会 新会長ご挨拶 .....                 | 2  |
| 令和8年度 横浜市工業会連合会委員会名簿 .....             | 3  |
| 協賛企業広告 .....                           | 4  |
| 地域工業会長にインタビュー .....                    | 5  |
| 横浜青年経営者会の会長が交代 .....                   | 6  |
| 令和8年度 横浜市工連事業計画 .....                  | 7  |
| 令和8年度 横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての回答 ..... | 9  |
| 令和8年度 新入社員合同研修 .....                   | 11 |
| テクニカルショウヨコハマ2026 .....                 | 14 |
| テクヨコ取材 東京精密発條㈱ .....                   | 15 |
| テクヨコ取材 ㈱ダイカン .....                     | 16 |
| 市工連からのお知らせ.....                        | 17 |
| 横浜市経済局からのお知らせ .....                    | 18 |

### 編集・発行

一般社団法人横浜市工業会連合会  
〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階  
TEL. 045-671-7051 FAX. 045-671-7321  
URL : <https://www.y-shikouren.or.jp>



QRコード読み取り

### 発刊日

令和8年7月31日

### デザイン・印刷

有限会社双葉印刷所

# 市工連理事会・総会を開催 黒田憲一氏が市工連会長に就任

6月24日（水）ロイヤルホールヨコハマにおいて、令和8年度第1回理事会・定時総会、第2回理事会を開催しました。7年度の事業報告・決算報告等の議決に加え、会長、副会長の選定を行いました。戸塚泉栄工業会の黒田憲一会長が市工連会長に、鶴見区工業会の立川道彦会長と、横浜市金沢団地協同組合の増田孝一理事が副会長に就任しました。



新任理事として、みなと工業会副会長の山口喜久雄氏をはじめ6名が選任され、顔ぶれが一新された総会となりました。

なお、これまで4年間、市工連会長を務めた加藤卓郎氏は市工連顧問となりました。

また、市工連で10年以上にわたりご尽力いただいた磯子事業会会長の長谷川浩正氏に、工藤哲史経済局長から横浜市工業団体役員表彰が授与されました。



加藤顧問(右)に記念品贈呈

## 令和8年度 横浜市工業会連合会 役員名簿

| 役 職 名   | 氏 名       | 工業会・役職                | 事業所・役職               |
|---------|-----------|-----------------------|----------------------|
| 会 長     | 黒 田 憲 一   | 戸塚泉栄工業会 会長            | 大洋建設株式会社 代表取締役社長     |
| 副 会 長   | 稲 村 直 之   | 港南区工業会 会長             | 有限会社稲村建具 代表取締役       |
| 〃       | 長 谷 川 浩 正 | 磯子事業会 会長              | 日興テクノス株式会社 代表取締役社長   |
| 〃       | 桐ヶ谷 修 幸   | 神奈川工業会 会長             | 株式会社桐ヶ谷工業所 代表取締役     |
| 副会長(新任) | 増 田 孝 一   | 横浜市金沢団地協同組合 理事        | 岡谷セイケン株式会社 代表取締役社長   |
| 〃       | 立 川 道 彦   | 鶴見区工業会 会長             | 株式会社鶴見精機 代表取締役会長     |
| 理 事     | 工 藤 圭 亮   | 横浜西部工業会 副会長           | 昭和建設株式会社 代表取締役       |
| 〃       | 山 口 喜 久 雄 | みなと工業会 副会長            | 株式会社ヤマグチレッカー 代表取締役   |
| 〃       | 金 子 亨     | 南事業会 会長               | 日栄建設株式会社 代表取締役社長     |
| 〃       | 黒 岩 勉     | 一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 副会長 | 株式会社羽後鍍金 代表取締役       |
| 〃       | 椿 雄 太     | 一般社団法人横浜北工業会 会長       | 株式会社互省製作所 代表取締役社長    |
| 〃       | 金 子 一 彦   | 戸塚泉栄工業会 副会長           | 三宝精機工業株式会社 代表取締役     |
| 〃       | 南 川 拓 也   | 横浜青年経営者会 会長           | 株式会社ミナミ技研 代表取締役      |
| 〃       | 工 藤 哲 史   |                       | 横浜市経済局長              |
| 専務理事    | 吉 田 雅 彦   |                       | 一般社団法人横浜市工業会連合会 事務局長 |
| 監 事     | 猪 鼻 久 義   |                       | 猪鼻会計事務所              |
| 〃       | 松 村 洋 一   | 一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 副会長 | 協立金属工業株式会社 相談役       |

「枠内色：新任理事」

# 横浜市工業会連合会 新会長ご挨拶



このたび、伝統ある横浜市工業会連合会の会長に就任いたしました、黒田憲一でございます。身の引き締まる思いでございますが、会員の皆様とともに本会のさらなる発展に尽力してまいり所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が代表をしております大洋建設㈱は戸塚区に本社を置き、横浜市工業会には昭和58（1983）年より連なっております。弊社の原点は、木造が主流であった農家の方々の住宅を鉄筋コンクリート造へと建て替えたことにごございます。気密性・断熱性に優れた構造とセントラルヒーティングを導入した快適な住まいをご提案してまいりました。現在は建設業を礎に、福祉施設の運営など地域でのまちづくりに参画しております。

私が会長を務めます戸塚泉栄工業会でも、「モノづくりからヒトづくり マチづくりへ そして未来づくり」というスローガンのもと、活動しております。

当会の特徴は、製造業はもとより、医療・福祉、子どもの居場所づくりを担うNPOなど、実に多彩な

分野の皆様にご参画いただいている「多様性」にあります。会員同士が協力し、地域社会の運営の担い手の1つとなりますのも、工業会を通じて培われた「顔の見える信頼関係」があるからに他なりません。

さて、長引くコロナ禍を乗り越え、ようやく企業間の絆を取り戻そうとした矢先、現在の世界情勢は激変を続けております。原材料やエネルギーコストの高騰、深刻化する人材不足など、経営環境は予断を許さない状況にあります。

しかしながら、我が連合会には、40年以上の長きにわたり、会員企業の皆様とともに築き上げてきた強固な歴史がございます。これまでに経験したバブル崩壊やリーマンショックといった幾多の荒波を、私たちは英知を結集して乗り越えてまいりました。その歩みこそが、今日の私たちの基盤であり、誇りでもあります。

混迷を極める時代だからこそ、今一度原点に立ち返り、お互いに知恵を出し合い、深く連携していくことが不可欠です。この難局を新たな成長の糧へと変え、ともに力強く前進してまいりましょう。会員の皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



黒田会長(左から3人目)と5人の副会長  
志を新たに、こぶしに力が入りました(市工連懇親会より)

# 令和8年度 横浜市工業会連合会 委員会名簿

(令和8年6月24日現在)

## ■ 総務委員会

| 役職   | 氏名    | 会社・役職           |         |
|------|-------|-----------------|---------|
| 委員長  | 稲村 直之 | (有)稲村建具         | 代表取締役   |
| 副委員長 | 小山 大輔 | 日本保安工業(株)       | 代表取締役   |
| 委員   | 粉間 崇  | 湘南造機(株)         | 代表取締役   |
| 〃    | 保科 智子 | 古河電気工業(株) 横浜事業所 | 所長      |
| 〃    | 金子 亨  | 日栄建設(株)         | 代表取締役社長 |
| 〃    | 成澤 宏  | (医)成澤会 清水橋クリニック | 事務局長    |
| 〃    | 栗原 敏郎 | (株)大協製作所        | 取締役会長   |
| 〃    | 内藤 隆行 | 横浜セレモ(株)        | 常務取締役   |
| 〃    | 大瀬 雅博 | 大瀬工業(株)         | 代表取締役社長 |
| 〃    | 武居 正則 | (株)武居商店         | 代表取締役会長 |
| 〃    | 金子 一彦 | 三宝精機工業(株)       | 代表取締役   |
| 〃    | 田島 圭一 | (株)田島精研         | 代表取締役   |

## ■ 広報・産学委員会

| 役職   | 氏名     | 会社・役職           |         |
|------|--------|-----------------|---------|
| 委員長  | 桐ヶ谷 修幸 | (株)桐ヶ谷工業所       | 代表取締役   |
| 副委員長 | 山本 公彦  | (株)丸屋神奈川製作所     | 取締役会長   |
| 委員   | 磯崎 洋人  | 神奈川トヨタ自動車(株)    | 渉外広報部理事 |
| 〃    | 関 曙慶   | 曙建設(株)          | 会長      |
| 〃    | 山本 早苗  | PromoVision     | 代表      |
| 〃    | 橋爪 重信  | 新俣機材(株)         | 代表取締役   |
| 〃    | 杉山 大輔  | (株)三興ネーム        | 代表取締役   |
| 〃    | 宮 裕之   | 東京ガス(株) 根岸LNG基地 | 総務部長    |
| 〃    | 穴倉 澄人  | (株)シシクラ         | 取締役社長   |
| 〃    | 大村 直樹  | 横浜鉄工(株)         | 代表取締役社長 |
| 〃    | 今津 太郎  | 阿蘇工業(株)         | 代表取締役   |
| 〃    | 渡辺 堅太郎 | (株)第一鉸製作所       | 代表取締役社長 |

## ■ 政策委員会

| 役職   | 氏名    | 会社・役職           |               |
|------|-------|-----------------|---------------|
| 委員長  | 増田 孝一 | 岡谷セイケン(株)       | 代表取締役社長       |
| 副委員長 | 伊藤 知之 | 日本貿易印刷(株)       | 取締役会長         |
| 委員   | 大西 努  | 東亜合成(株) 横浜工場    | 工場長           |
| 〃    | 福島 佳孝 | 京浜電設(株)         | 代表取締役         |
| 〃    | 花本 高志 | (株)ダイイチ         | 取締役副会長        |
| 〃    | 岡部 郁子 | 岡部産業(株)         | 取締役副社長        |
| 〃    | 達知 剛志 | (株)プレスビット       | 代表取締役         |
| 〃    | 紺野 互  | 日鉄工営(株)         | 代表取締役社長       |
| 〃    | 黒澤 一弘 | (株)IHI 横浜事業所    | 事業所長(兼)総務部長   |
| 〃    | 真鍋 緑朗 | アールグラット(株)      | 代表取締役         |
| 〃    | 梶田 兼一 | (株)カジタ          | 代表取締役社長       |
| 〃    | 安永 平雄 | イチコーエンジニアリング(株) | 代表取締役会長(兼)CEO |
| 〃    | 高橋 正徳 | ヤマセ精機(株)        | 代表取締役         |

## ■ 雇用・環境委員会

| 役職   | 氏名     | 会社・役職          |         |
|------|--------|----------------|---------|
| 委員長  | 立川 道彦  | (株)鶴見精機        | 代表取締役会長 |
| 副委員長 | 久保田 耕二 | 久保田建設(株)       | 代表取締役   |
| 委員   | 石井 一登  | 石井建設工業(株)      | 代表取締役社長 |
| 〃    | 青山 真理子 | 日産自動車(株)       | 渉外担当部長  |
| 〃    | 新井 正和  | 新栄重機土木(株)      | 代表取締役   |
| 〃    | 湯川 正純  | (株)ヘルツ         | 代表取締役   |
| 〃    | 坂本 保   | (株)坂本興業        | 常務取締役   |
| 〃    | 日野原 技  | (株)村山製作所       | 代表取締役   |
| 〃    | 黒岩 勉   | (株)羽後鍍金        | 代表取締役   |
| 〃    | 藤枝 慎治  | (株)グーン         | 代表取締役会長 |
| 〃    | 北田 英貴  | (株)ブリヂストン 横浜工場 | 総務部長    |
| 〃    | 河上 洋平  | (株)中越工業        | 代表取締役社長 |

## ■ 事業・企画委員会

| 役職   | 氏名     | 会社・役職       |         |
|------|--------|-------------|---------|
| 委員長  | 長谷川 浩正 | 日興テクノス(株)   | 代表取締役社長 |
| 副委員長 | 向井 一馬  | 三和化成工業(株)   | 代表取締役社長 |
| 〃    | 山口 研二  | 井上鋼材(株)     | 代表取締役   |
| 〃    | 平出 晴久  | ゴールデン文具(株)  | 代表取締役   |
| 〃    | 山口 喜久雄 | (株)ヤマグチレッカー | 代表取締役   |
| 〃    | 浦野 富士夫 | (株)セレバル     | 取締役     |
| 〃    | 江藤 忠勝  | (有)龍昇堂      | 代表取締役   |
| 〃    | 柳沼 芳光  | (株)柳沼建設     | 代表取締役   |
| 〃    | 山口 智之  | (有)協和タイヤ商会  | 代表取締役   |
| 〃    | 近藤 一美  | (株)エイト      | 代表取締役   |
| 〃    | 近藤 大輔  | (株)ハルツ      | 代表取締役社長 |

## ■ 施策検討会

| 役職 | 氏名     | 会社・役職         |         |
|----|--------|---------------|---------|
| 委員 | 小林 真一  | 小林商工(株)       | 代表取締役   |
| 〃  | 荒木 慎吾  | (株)シーク        | 取締役事業部長 |
| 〃  | 高橋 幸夫  | かちどき特許事務所     | 所長      |
| 〃  | 高木 康志  | 高木特許事務所       | 所長      |
| 〃  | 高野 一哉  | (有)高野塗装       | 代表取締役   |
| 〃  | 黒田 裕太郎 | 港南テクノクス(株)    | 代表取締役   |
| 〃  | 梗間 政幸  | シナノ紙工(株)      | 代表取締役   |
| 〃  | 工藤 圭亮  | 昭和建設(株)       | 代表取締役   |
| 〃  | 田口 真弘  | (株)金剛コルメット製作所 | 総務部次長   |
| 〃  | 児玉 聖司  | (株)ワン・ツー・ストック | 代表取締役   |
| 〃  | 加藤 亮   | (株)ホープ        | 代表取締役   |
| 〃  | 加藤 高智  | (有)工研         | 代表取締役   |
| 〃  | 西端 望   | ウエストスタート(株)   | 代表取締役   |
| 〃  | 南川 拓也  | (株)ミナミ技研      | 代表取締役   |

## 預かる、蓄積されたHEIWAのノウハウ、危険物の“安全管理”



### 1. 危険物倉庫事業

危険物（消防法第四類引火性液体類を主とする）専門の保税蔵置場業務

### 2. 貨物自動車運送事業

関東～中部地区間を主体とする鋼材専門の中・長距離運送業務



平和産業運輸株式会社

〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-8-18

TEL. 045-785-0131(運輸)

045-785-0132(倉庫)

FAX. 045-785-0070

<http://www.heiwa-sangyo.co.jp/>



日興テクノス株式会社

顔の見えるITで、信頼をつくる。

# FACE to FAITH

# 深海から地球環境を見守る オンリーワン企業

### ■海洋調査機器のフロントランナー

(株)鶴見精機は、海洋調査機器等の開発・製造を行っており、鶴見区工業会の立川道彦会長が同社の会長を務められています。

1989年に国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が製造した深海潜水調査船「しんかい6500」に搭載する機器向けに、水深1万m相当の耐圧試験が行える装置の開発を行うなど、システム開発に寄与しました。

試験装置の開発は大手企業が断念するほど難易度が高く、完成させた際に発注者を驚かせた逸話も残っています。



試験品が高圧で壊れると大音響も赤い口が怖いぞ。耐圧試験タンク

### ■深海を探る「忍者」はスマート

2012年には海水温と塩分を漂流しながら計測する深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」を発表しました。

同機器は、あらかじめ設定されたプログラムに基づいて水深4千mまで沈降可能で、浮上時に海水を検知した場合は再沈降するなど、自律的に対応します。

また、自身の位置をGPSで特定すると共に、衛星通信によりデータの送受信を行います。



ジムとラグビーで鍛えた立川会長もスマート

### ■世界のオンリーワンカンパニー

現在、特に力を入れているのは、世界シェア1位を

獲得しているXCTDプローブ(※1)と、調査船から観測機器などを目的の水深まで投入、回収する巻上機(ウインチ)。

高い専門性を有する、設計及び技術開発を担う約20名のエンジニアがこれを支えています。



観測船には欠かせないウインチ

立川会長は、海洋で、しかも深海で使う機器なので、観測精度に加え機器の精密さや耐圧性などが国内外から高く評価されていると話します。

### ■地球温暖化を見つめる観測機器

本年11月竣工予定の北極域研究船「みらいⅡ」(JAMSTEC所属)は、高い砕氷・耐氷性能と観測機能を併せ持ちます。

北極海は地球温暖化の影響が最も顕著に表れていると言われ、同海域での長期観測は気候モデルの予測精度を高めることができます。観測船には鶴見精機製の機器が採用されており、より多くのデータを的確に得ることが期待されています。

独自技術の開発に長けた企業ですが、立川会長は、日々の「挨拶」を大切にし、海外も含め他社とも連携を広げられる世界観を持つ社員を育てていきたいと話します。

地球温暖化による影響が深刻度を増す中、鶴見精機が活躍する場所も増えていきそうです。

(※1) 航行中の船舶から投入し海水温と塩分を同時に計測可能な測器。XBT(投下式水温計)プローブおよびXCTD(投下式塩分水温深度計)プローブの累計生産出荷本数が昨年7月に100万本を達成。

### ■取材先

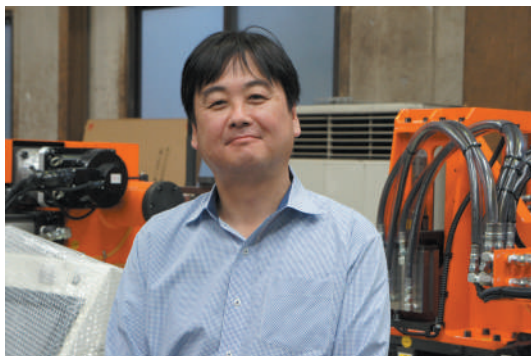
株式会社鶴見精機

横浜市鶴見区鶴見中央2丁目2-20

## 会社でも青経会でも 「人材育成」を大切に

■新会長は、パイプ曲げ加工会社の2代目社長  
(株)ミナミ技研の南川拓也社長は、本年4月に横浜青年経営者会（以下、青経会）の会長に就任されました。

ミナミ技研は1983年、現会長が大田区大森でパイプ曲げ加工の工場長から独立し、創業。今年、本社の近隣に新工場を開設し、新たな工作機器の導入も行いました。



新しい機器で何を作りますか？ 南川社長

### ■会社の基礎は「社員の育成」

パイプ加工を担える社員の育成には長い時間を要します。中空の丸パイプ加工を行うパイプベンダーが扱えるまでに10年、平鋼などを曲げるアングルベンダーでは20年と言われている世界です。

取引先が約2,500社あり、素材や加工の種類も多岐にわたるため、各社員が専門性を深め、顧客の要望に応えられるようしっかり育てることが大事だと南川社長は話します。



アングルベンダーは1人前まで20年

同社では若手への技術継承に特に力を入れており、役職で壁を作らないフラットな環境づくりを意識しています。さらに、社員のモチベーションや技術力向上

を目指し、テーマパークやモータースポーツ関連の仕事も積極的に受注しています。

### ■職人の技を共有し、技術を会社に蓄積

同社では、独自に開発した販売管理と生産管理のシステムを連動させています。これにより、異なる顧客から同種の発注があった際にも、必要な技術やノウハウを横展開し、組織全体で共有できる仕組みを構築しています。

### ■先輩に怒られることも青経会の魅力

青経会に入ったきっかけは、北川製作所の北川隆和社長からのお誘いでした。会では先輩方が真剣に心配し、時には怒ってくれることが魅力だと話します。30～40歳代は、後継者として、先代社長のやり方とのギャップに悩みやすい時期。しかし、同じ経験を乗り越えてきた先輩からの助言には勇気に付けられるとのこと。

また、会員の中には新しいことに挑戦する経営者もあり、成長し続けている会社の社長に良い意味での嫉妬を覚えることも大事だと話します。

人を育てるという軸は会社経営でも青経会でも変わりません。これからも若手の経営者に頼られる存在であり続けたいと語る南川社長の今後の更なるご活躍を期待します。



青経会懇親会はOBも参加して和気あいあい

### ■取材先

株式会社ミナミ技研

横浜市都筑区東方町347-2

# 令和8年度横浜市工連事業計画

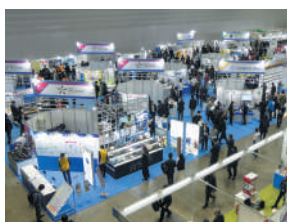
横浜市工業会連合会は、各委員会や機関誌「よこはま市工連」、地域工業会の活動支援などを通じ、経営者や技術者同士の顔の見える関係が広がり、深まるよう取り組みます。

また、展示会への出展支援などを通じ、ビジネス機会の創出や新たな技術開発を支援します。

## I ものづくり活性化事業 【25,050千円】

### 1 販路拡大事業

- (1) 工業技術見本市  
「テクニカルショウ  
ヨコハマ2027」  
(以下、テクヨコ)  
【詳細は14ページ】



### (2) 商談会の開催

(公財) 神奈川産業振興センター等に協力し、受発注商談会を開催します。

- ア 受発注商談会「オール神奈川」(後援)  
オンライン開催  
イ 受発注商談会 テクヨコと併催

### 2 ものづくり人材育成支援事業

#### (1) 新入社員合同研修

【詳細は11ページ】



#### (2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会

新入社員や中途採用社員等、入社2年目までの若手社員が対象。「なんとなく」から「自信」に裏打ちされた社員を目指します。他業種の同年代との交流も好評です。

開催予定：2027年2月17日(水)



### (3) 学校と企業の就職に関する懇談会

【満員御礼】

市内を中心とした県立高校等の進路指導教員と市内中小企業の経営者や採用担当等を対象に開催します。公共職業安定所や市と共催で採用情報、高校生の就職状況等について情報交換します。

日程：6月9日(火) 午後

会場：横浜産貿ホール マリネリア

### (4) ものづくりの魅力を伝える事業

ものづくりや製造業に対する理解を深めるため、高校生や職業訓練生などを対象に見学会等を開催します。

- ア 出前講座  
イ 工場見学会  
ウ テクヨコ見学会



三宝精機工業(株)で作業に挑戦

### (5) 技術者育成支援事業

中小製造業の礎となる人材の育成、社内の技術力向上、技術承継を推進するため、従業員の技能資格の取得に対して受検費用等を助成します。

### (6) 技能検定試験に関する講習料の支援【拡充】

技能試験に挑戦する機運醸成に向け、受験不合格者に対しても技能検定試験の講習料を一部助成します。

### (7) PR動画作成支援事業

中小企業における人材確保を目的としたPR動画制作費用を一部助成します。



伸光金属工業(株) PR動画より

## Ⅱ 産業振興施設の管理運営 【83,320千円】

施設運営を通じ、製品開発や新事業分野への参入支援、BtoB、BtoCビジネスを支援します。

なお、横浜産貿ホールは利用料の見直し等を行います（4月1日申込～）。

- 1 試作用賃貸スペース  
（鳥浜トライ&トライアルステージ（T3））
- 2 横浜産貿ホール（マリネリア）

## Ⅲ 市工連及び地域工業会等の活性化 【11,761千円】

各委員会により事業を実施するほか、各地域工業会及び青年経営者会の活動を支援します。

### 1 委員会事業

事業・企画委員会では、GREEN×EXPO 2027開催を見据え、環境・エネルギー関係施設を見学します。

見学先：みなとみらい21熱供給(株)

センタープラント（西区桜木町）等

日程:11月13日（金）



出典 みなとみらい二十一熱供給(株)

### 2 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

### 3 産業振興に関する要望

9年度横浜市予算に対する要望書を提出します。

### 4 すぐれたアイデア提案者表彰

技術開発や生産性の向上、経費節減等に関する「すぐれたアイデア」を提案し、会員企業の発展に貢献した従業員を顕彰します。



## 5 会員企業等のネットワークの活性化

来年の市工連賀詞交歓会は1月7日（木）に開催予定です。

ご参加をお待ちしております。

## 6 情報発信事業

### (1) インターネットを活用した情報提供

ホームページ、メールマガジン発行など

### (2) 機関誌等の発行

会員企業等への取材や事業報告、各種情報提供を行います。

ア 機関誌「よこはま市工連」年2回発行

イ 情報紙「市工連かわらばん」年6回発行

## 7 会員サービス事業

「災害共済」などの各種福利厚生事業を実施するとともに、市工連独自のPL保険への加入を促進します。また、団体割引の取りまとめ等を実施します。

## 8 横浜市事業の周知・啓発

「脱炭素取組宣言」など、市が進める各施策や取組等を地域工業会に周知し、市と連携を図ります。

## Ⅳ GREEN×EXPO 2027「交流・創発スペース」でのイベント実施準備【新規】 【5,000千円】

市出展施設内の「交流・創発スペース」で、市やIDECと連携したイベント実施に向け、プラン概要の検討や実施計画づくり等を、青年経営者会のメンバーとともに進めます。

なお、GREEN×EXPO 2027は3月19日から9月26に開催されますが、市工連のイベント開催日は、後日決定されます。



横浜市出展「建物空間を活用した発信拠点」

# 令和8年度 横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての回答

市工連では昨秋、8年度の横浜市予算編成に向けた要望書を提出しました。重点要望を中心に市からの回答要旨を掲載します。なお、全文は市工連HPでご確認ください。

## I ものづくりの活性化

### 1 中小企業の経営支援

#### 経済局 予算拡充

#### (1) DX、IoT導入（業務効率化）に対する支援

##### 【回答】

人材育成講座や伴走型支援の募集枠を拡充。  
（公財）横浜企業経営支援財団（以下、IDEC）と連携した相談対応により、人材育成やデジタル技術を活用した経営改善を支援。

#### 経済局 予算拡充

#### (2) カーボンニュートラルの取組の推進

##### 【回答】

各補助申請において「脱炭素取組宣言」やCO2削減計画の策定、削減量の確認を義務付け、企業の行動を促進。

省エネ設備や太陽光発電に加え、LED照明設備への助成を新設。賃貸業務ビルへのLED導入も対象とし、一層の温室効果ガス削減を目指す。

#### (3) 経済局の実施する中小企業支援制度

ア 横浜駅周辺地区の再開発主導による新たなビジネスエリアの創出

イ 戸塚・泉・栄区内の製造業の集積

ウ 補助金・助成金の申請手続きの簡素化と事業完了後の迅速な助成金の支払い

エ 施策周知への一層の工夫

オ 現場訪問事業の充実

##### 【回答】

ア 8年度は、横浜駅周辺地区のまちづくりの指針である「エキサイトよこはま22」の更新を行い将来像の可視化を図る。また、地区別ガイドラインの作成など、開発の機運を高めていく。

あわせて、計画実現に向けた開発促進策（規制緩和等）を検討・策定する。

イ「土地利用マッチング支援」による情報提供や個

別企業訪問などを行うほか、企業立地促進条例等を活用し、更なる投資と市内企業の事業機会の拡大を図る。

ウ 電子化による手続きの簡素化や、提出書類等の見直しを適宜行う。

エ SNS等を活用し、適時で明確な情報提供となるよう工夫を重ねる。さらに、国や県の補助金や制度改正など、幅広く情報提供する。

オ IDECと連携し、中小企業診断士等が企業訪問し、販路拡大や技術連携など支援している。

なお、日産自動車(株)の生産体制縮小による影響を受ける事業者には、年間の訪問回数の上限を撤廃している。

#### 経済局 予算拡充

#### (4) 地域工業会支援

##### 【回答】

地域工業会による人材育成等を支援するため、要望を踏まえ、8年度から「ものづくり魅力向上助成金」は、年2回（上期・下期）の分割申請が可能に。

## II 販路拡大

### 1 横浜市の認定・認証制度

#### (1) 各種認証が連携した企業のブランド力を高める取組の推進及びPR

##### 【回答】

「よこはまグッドバランス企業認定」は、国や社会の動向を注視し、必要に応じて評価項目を見直しながら、認定取得が企業評価の向上につなげる。

「横浜グランドスラム企業表彰」は表彰自体をPR材料と考えており、制度のPRにより価値を高め、企業の評価向上につなげる。なお、本制度は1事業者に対し1回の表彰となり、上位ランク表彰制度の創設は検討していない。

「Y-SDGs」認証」は、YOXOフェスティバルに加えSDGsアワード等で取組紹介や表彰を行った。引き続き企業価値向上等につながるよう、幅広い世代に認証事業者のPRを行う。

「エコアクション21」は、自治体イニシアティブ・プログラムに申し込み、市内企業が認証・登録を行うためのコンサルティング費用等の軽減など、今後も認証取得の促進を図る。

## (2) 各種認定・認証取得のインセンティブの拡充

### 【回答】

横浜グランドスラム企業表彰のインセンティブとして、「横浜市中企業融資制度」の「SDGsよこはま資金」では信用保証料を全額助成している。

引き続き、各認定・認証制度の継続・発展に向け、申請手続きやインセンティブの見直しを検討する。

## (3) 各種認定・認証制度全体の見直し

### 【回答】

「横浜グランドスラム企業表彰」の表彰企業には、各制度の更新年度の一覧表をお渡しするなどしている。引き続き、各制度間で情報共有し、手続きを見直すなど、負担軽減に努める。

なお、「地域貢献企業認定制度」は、グランドスラム企業を対象に更新手続きの簡素化を検討している。

## Ⅲ 人材確保・育成

### 1 人材確保・育成

#### 経済局 予算拡充

#### (1) 多様な人材の活用（外国人材受入れ）

##### 【回答】

昨年度の調査を踏まえ、ハローワーク等と連携し合同就職面接会を開催。採用から定着を一貫支援するためセミナーも実施。企業の受入体制強化を支援し、伴走型のサポート等を行うなど、包括的に支援する。

## (2) 人材確保のための仕組みづくり

### 【回答】

一部地域工業会が大学と連携し、工業会を紹介する講義や理工系ゼミの学生による企業訪問などを進めており、地域工業会の実情に合わせ支援を行っている。

## Ⅳ 一般要望

#### 経済局 予算拡充

### 1 工業団地内における防犯灯の設置や維持費助成

#### 【回答】

8年度は、「ものづくり魅力向上助成金」を拡充し、夜間照明の設置に向けた調査費と、夜間照明の電気料金を助成対象に含める。

助成限度額も各対象区分で20万円、最大40万円に。

#### 経済局 予算拡充

### 2 GREEN×EXPO 2027を契機としたものづくり産業の活性化

#### 【回答】

Urban GX Village内に本市が設ける発信拠点には、来館者との交流を通じて新たな取組の創発につなげることを目指した「交流・創発スペース」を設置する。

交流・創発スペースでのグリーン社会を実現する先進技術に関する展示やイベント等の実施に向け、関係団体と連携し内容の検討等を行う。

## ◆ 会員情報交換 ◆

地域密着！暮らしを支える電気屋さん

# 設備工事

お任せください！

株式会社 アースコム

045-341-3244

受付時間  
平日 9:00～18:00

太陽光設備工事

空調設備工事

蓄電池設備工事

会社情報は  
こちら





# 令和8年度(第39回)新入社員合同研修

今回で39回目を迎える市工連主催の「新入社員合同研修」。帆船日本丸の海洋教室の訓練を含む合同研修によってチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材を育成することを目的として、4月7日（火）～8日（水）に開催されました。

今回は18歳から31歳までの9社45名（男性38名、女性7名）が参加。研修では、講義やグループワークでビジネスマナーを学ぶとともに、ロールプレイで電話応対や役割を決めての報連相を行いました。夕食前には日本丸に宿泊するための居室準備（ボンク（ベット）メイク）を二人一組で行い、夕食後にも講義を行いました。

また、「帆船日本丸」の海洋教室として、日本丸のビデオ鑑賞や船長の講話を聴くとともに、朝の甲板磨き、マスト登り（登檣：とうしょう）訓練、ロープ結び（結索）訓練、カッター訓練に参加しました。マスト登り

では、ヘルメットやハーネスを装着し安全にも十分配慮し実施しました。

第1日目は雨天の為、講義を集中して行い、第2日目は海洋教室を行いました。

この研修は、受講生の皆さんや参加企業様の満足度の高い研修ですので、来年度も是非ご参加ください。（参加企業様からのご意見は13ページ）



グループワーク



マスト登り

## <研修カリキュラム>

|                   |     |                                                                   |
|-------------------|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 《第1日目》<br>4月7日(火) | 午 前 | ＊開講式（加藤市工連会長他の挨拶）<br>＊マナー研修（講義、グループワーク、ロールプレイ）                    |
|                   | 午 後 | ＊船内見学／日本丸のビデオ鑑賞<br>＊電話応対（自分の声を聞き、電話の話し方を学ぶ）<br>＊居室準備（ベットメイク）／避難訓練 |
|                   | 夕食後 | ＊報連相（講義、グループワーク、ロールプレイ）                                           |
| 《第2日目》<br>4月8日(水) | 午 前 | ＊甲板磨き<br>＊船長の講義「社会人として最低限守らなければいけないこと」<br>＊登檣訓練(マスト登り)            |
|                   | 午 後 | ＊結索訓練、カッター訓練<br>＊感想文作成、口頭発表会<br>＊閉講式・認定書授与                        |

# 新入社員合同研修を受講して

(会社名等：50音順)

## 海洋電子工業株式会社 (横浜市金沢団地協同組合) 高木 耕介さん

今回の研修を通して、私は会社で働く上で必要となるマナーや協調性を学ぶことができました。

講義ではまずなぜビジネスマナーが必要かをグループでまとめ、発表しました。ビジネスマナーが必要である理由を深く考えたことがこれまではありませんでしたが、ビジネスマナーを身につけることは会社にとっても自分にとってもメリットがあることだと理解することができました。これからは面倒くさがらず、マナーに気を付けていきたいと思いました。また、グループでの作業では、短い時間でコミュニケーションをとることの難しさや自分の話し方のくせに気付かされました。仕事では報告、連絡、相談をする機会がたくさんあると思いますが、そのとき円滑にコミュニケーションを行えるように、今回学んだことを活かしていきたいと思います。講義の合間に講師の方がしてくださった、以前の職場での出来事や他の会社とやりとりしたときのお話もとても印象的でした。私たちは先輩方から学ぶ立場であると同時に、これからの社会を任う立場でもあるという自覚を持ち、悪い振る舞いや慣習はまねせず断ち切っていきたいと思います。

今回の研修では講義を受けるだけでなく、日本丸での宿泊や登檣訓練なども行いました。他の会社からの研修生とも協力してボンクメイクや清掃を行うことができて、とても楽しく2日間を送ることができました。登檣訓練は一人ずつ行うものでしたが、これから登る人と声をかけあったり、終わった人に拍手したりしました。これはシーマンシップというものだそうです。おかげで緊張せず安心して登ることができました。

この研修を通して、ビジネスマナーや協調性について、それが大切である理由を含めて学ぶことができました。この2日間のことを忘れることなく、充実した社会人生活を送りたいと思います。



カッター訓練

## 三波工業株式会社 (一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会) 津田 恭佳さん

私が今回の研修を通して感じたことは、社会人としての意識に切り替わったことである。そして、2日間を通して一番学んだことは、とにかく「やる」ことだ。

これまでの学生時代の決定権は、今思えば全て自分にあった。「できる・できない」や「やりたい・やりたくない」といった自身の感情で、実行するか否かを決定していた。しかし、社会人となった今、組織の一員として、また、雇われている身として、自分の感情などひとまず置いておき、とにかく精一杯向き合うことが必要とされるのだ。

今回2日間を通じ、私は上記の意識へと切り替わる瞬間を強く感じるすることができた。

まずは、1日目のビジネスマナー講座における、プレゼンテーションの練習である。私は人前で話すこと、ましてやちゃんとした原稿無くその場で考えながら話す

など言語道断である。しかし、この講義において、私の得手不得手など関係ない。やるしかないのだ。結果は勿論、課題点ばかりであった。しかし良い点もあったことも分かったし、なにより自分のできる限りの力で挑戦する大切さを学ぶことができた。

そして2日目、日本丸のいくつかの体験にて、その考えがしっかりと身についた。

早朝の甲板清掃はとても寒く、足が痛かった。脳裏に一瞬、辛いという二文字が浮かんだが、船員の方々が日々行っていたという尊敬の念と前日のマナー講座で学んだことから、やるしかない并向き合った。その後行われた登檣訓練では恐怖心で一杯だった。しかし、これまで学んだ挑戦への大切さ、そしてその挑戦から感じていた達成感を求め、勇気を出し登った。前日のマナー講座で体感したことがしっかりと身についたと実感できた瞬間だった。

これらを含めた沢山の経験から、社会人としてとにかく「やる」ことの大切さを学ぶことができた。非常に意義のある2日間だった。

## 東洋ガラス機械株式会社

(鶴見区工業会)

### 永倉 亜優さん

今回の2日間の研修を通じて、ビジネスマナーの礼儀やルールを学ぶことができるだけでなく、登壇訓練やカッター訓練など身体を動かすことによる挑戦心の大切さを学びました。

まず1日目では、社会人として必要となる最低限のビジネスマナーを学びましたが、1日目の全体を通じた大きな学びは、自分自身に足りないものや課題点を知ることができたことです。具体的には、席の近い方とグループになって、一つのテーマについて話し合いをした内容をまとめ、他グループに一人ずつ発表を終えて次の人に交代する際に、その方が他グループからもらったフィードバックを共有することができたため、その都度良かった点や工夫したらもっと良くなる点が明確化していきました。そのため、発表する時にそのような点を事前に知り、意識するきっかけになりました。また、私自身も他グループからフィードバックをもらっ

たことにより、ひげ言葉が多いことや声量に課題点があることに気づくことができ、自身を客観視するきっかけになりました。特に、ひげ言葉は無意識で使っている場合も多いため、今後の社会生活だけでなく、日頃から飲み込むこと※を意識していきたいと感じました。さらに電話対応や名刺交換もポイントを学ぶだけでなく、実践や録音をすることで課題が多く見付き、これからは積極的に学び社会人として成長していきたいと思いました。

2日目では、ヤシの実を使った裸足で行う甲板清掃や高さ15m程の登壇訓練、ボートを使ったカッター訓練等を体験でき、非常に貴重な経験になりました。特に登壇訓練は、体験する前は恐怖心と不安が大きかったですが、挑戦後の達成感が強く、自身の殻を破れたような気がしました。

今回の研修を通じて、他社の新入社員の方との交流や実践形式の講義、新しい貴重な体験は、非常に学びが多く濃い2日間を送ることができました。今回の学びを今後の社会人生活にぜひ活かしていきたいと思いました。

#### ※飲み込むこと

ひげ言葉「あの一」「えー」等の話す時に連発される不要な挿入語を言いそうになったら飲み込むと出なくなるという話題が講義中にありました。



カッター訓練

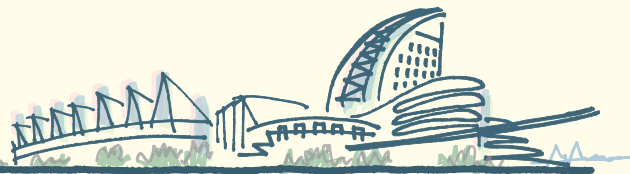


集合写真

### 研修をご利用いただいた企業からのご意見の一部をご紹介します。

- ・ 社会人の心構えを学ぶ機会となり、日本丸研修でしか体験できないこともあり良い。
  - ・ 入社したばかりで泊りは負担がかかるのではないかな。
  - ・ 研修後は社会人としての自覚が一段と高まったと同時に自信に満ちた感じがする。
- 研修で得た学びを業務に活かし成長してくれると期待する。

# テクヨコ2026が開催



■出展者数、800社超 参加者は1万8千人に  
テクニカルショウヨコハマ2026（以下、テクヨコ）を2月4日～6日までパシフィコ横浜で開催しました。今回は、831社がご出展され、1万8千人にご来場いただきました。

開会式では神奈川県副知事の平田良徳氏や横浜市長の山中竹春氏、市工連の加藤卓郎会長が主催者挨拶を行ったほか、ご来賓として神奈川県議会議長の長田進治氏、横浜市の副市長の尾崎太氏、横浜商工会議所の川本守彦氏から祝辞を頂戴しました。



開会式終了後、横浜市副市長の尾崎太氏が会場内を視察され、多くのブースで担当者にご質問を頂きました。



副議長(左)に説明する株式会社景泉機器の落合氏

各地域工業会に加盟の企業からは37社が出展しました。多くの企業が社長自らブースに立ち、トップセールスを行いました。

出展された企業の方に伺ったところ、『ビックサイトの展示会より実契約に結び付きやすい』、『新たな取引先候補が複数できたので、具体化に結び付けていきたい』と出展の効果を感じているとのこと。

市工連会長の加藤は、地域を超えて各社の技術の連携が深まり、製品の販路が広がることを期待していると話します。

また、会場を回っていると『現場で使えるのではないか…』など、新たな気付きを得ることができ、また、訪れた会社の方々と対話は自社の情報を発信する貴重な機会になるとのことでした。

## ■ビジネスチャンスをもっと増やす取組を充実

期間中に行った「受・発注商談会in横浜2026」は、初めて「しずおか・かながわ広域商談会」と合同開催で行い、97社が参加し、商談件数も大幅増の900件（前年度660件）となりました。

また、市内企業が出展する横浜ものづくりゾーンにインフォメーションカウンターを初めて開設。

『この図面を製品化できる企業はないか』や『見積書を作ってほしい』など、具体的な質問に対応しました。

皆様の新たなビジネスチャンス創出につながるよう、取組を充実させていきます。



カウンターには IDEC 相談員が常駐

## ■テクニカルショウヨコハマ2027 概要

- ・日程 2027年2月3日（水）～5日（金）
- ・会場 パシフィコ横浜 展示ホール
- ・出展受付 7月1日（水）～
- ・出展料  
スタンダードブース 187,000円/1小間（県内企業）  
スペースブース 154,000円/1小間（県内企業）  
横浜ものづくりゾーン 55,000円/1台（市内企業限定）



# 現場の悩みから技術開発 特許取得へ

## ■ばね技術をもとに自社製品を開発

東京精密発條(株)は、1930年に創業した工作機械の周辺装置などを製造する横浜北工業会の会員企業です。2008年に本社を都内から移転しました。

## ■現場の課題から特許技術を開発

金属をベンディングマシンで曲げ加工をする際に上型（パンチ）が被加工材を押すと、V字型の下型（ダイ）の肩部に触れている部分に傷が発生します。

この課題を克服するため、2002年にパンチが下りてくる動きに合わせてダイが動く回転金型「ウイングバンド」を開発。その形は、まさに鳥の羽のよう。

2015年には金型に更なる改良を加え、加工時にまったく傷が付かない「ウイングバンドプラス」を発売。特許を取得し、2023年には神奈川県工業技術開発大賞奨励賞も受賞しました。



半円形の金型が回転して傷を防止  
ダイに「ばね」が入ってます！

板ばね製作の工程で、部材に発生する傷に悩まされてきたからこそ生まれた技術だと社長の大西貴子氏は話されます。

傷が付かない利点は、さび予防や強度維持だけでなく、加工後に傷を取るための研磨加工が不要になります。また、金型が平面から谷折り状に変形しながら受け止めるためV字型のダイが苦手な狭幅なものの加工も可能です。

歯科用機器の製造に採用されているほか、細やかで美しい加工が必要となるインテリアやキッチン用品にも、強みが発揮できそうです。



ウイングバンドプラス（右）は穴際もきれい

## ■ドイツ企業が販路開拓のきっかけに

国内外へ売り込みを行い、反応があったのがドイツ企業でした。熟達した職人による高い品質を大切にするマイスター制度のおかげか製品への評価は高く、販路拡大の起点となりました。

今も売上高に占める海外販売の比率が高いことが同社の特徴です。

## ■顧客ニーズへの対応から新たな特許を

東京ビッグサイトで開催された「2025国際ロボット展」に出展するなど、新分野にも挑戦しています。顧客ニーズを形にしてきたことが会社の強み。設計部門を軸に新たな特許も目指したいと大西社長は話します。

## ■2030年の創業100年をめざして

大西社長は、昨年の社長就任時に、5年後の創業100年に向けて「Road to 100 (R100)」を打ち出し、人が集まる新3K（綺麗で稼げて、家族に勧められる）企業を目指す宣言をされたとのこと。

納期に追われがちな日々ですが、製品の評価を社員にフィードバックし、一緒に未来を見たいのだとお話いただきました。

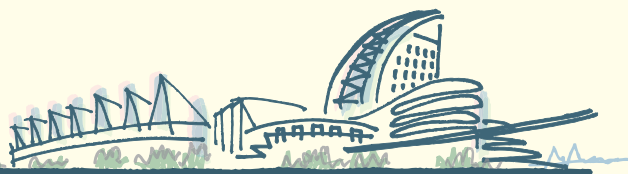


プレゼン上手な大西社長  
20年の営業経験がチャリ

## ■取材先

東京精密発條株式会社  
横浜市都筑区東方町134

# 側溝の蓋にもイノベーション



## ■横浜市の販路開拓支援事業に認定

㈱ダイカンでは、土木資材販売や上下水道の設備工事などを行っています。既存のグレーチング（道路の側溝に使う格子状の蓋）に天然石を充填・固定することで、透水性を確保しつつ、ゴミや落ち葉による目詰まりを防ぐ「Tosk Reuse Cover（トスク リュー ス カバー）」が、昨年度の横浜市の販路開拓支援事業に認定されました。



## ■側溝の課題を透水性舗装材で解決

グレーチングは靴のかかとが挟まりやすく、落ち葉などによる目詰まりは水たまりの原因になります。また、煙草の吸い殻などを捨てられがちです。

石材を使ったグレーチング蓋は金属枠を新たに製造するためコスト高でしたが、既存のものを活用する技術を開発し課題を克服しています。

Toskとは天然石にエポキシ樹脂とFRP繊維を混ぜ合わせた透水性天然石舗装材で、その混合比率により高い耐久性が生み出されます。

また石を加熱し水分含有量をゼロにすることも樹脂の接着効果を安定させるノウハウとのこと。

加工は1日程度あれば固化できるので、工事中は仮の蓋をおいて対応します。



上着の背中にはTosk Reuse Cover柄  
笑顔が素敵なお田口社長(中央)

製法の特許は申請していません。同業他社がこの技術を使い、より多くの現場で課題が解決されることを期待したいので取得の予定はないと社長の田口氏は話します。

テクヨコ出展時に見積依頼があったとのことでしたが、各企業でも側溝の清掃で困っていることが多そうです。

試験導入した小学校や消防局からは、ゴミや落ち葉が詰まることがなくなりました。清掃の効率化が図られ、排水も円滑になりました等の声が寄せられています。

## ■技術は国内他都市や世界へ

寒冷地では、グレーチングの凍結により車のスリップや歩行者の転倒する危険性が高まります。山形県内では加工したグレーチングに水を流し、凍結を防止できるか実験が行われています。

また、タイの大学と透水舗装の共同実験が始まるなどToskへの関心が高まっています。田口社長もタイへ出張し調整されているとのこと。

## ■横浜市販路開拓支援事業とは

販路開拓支援事業は、新技術開発等支援事業の一環として行われています。優れた商品を生産・保有する事業者を認定し、行政現場での試用や認定商品の販売促進費用の一部助成、テクヨコへの出展支援などが受けられます。



小学校などで試験導入

## ■取材先

株式会社ダイカン

横浜市港北区大豆戸町477

## 市工連からのお知らせ

いずれもご案内は、市工連メルマガや市工連ホームページで行います。

### PR動画作成支援補助事業

中小企業における人材確保を目的として、若者に対する製造業等の理解と興味を深める動画作成。制作した動画は市工連のホームページ上に企業PRとして掲載しています。

申請受付は先着順です。予算に達した時点で締め切ります。詳細は市工連のホームページをご覧ください。PR動画作成にご興味のある企業様は、ぜひご利用ください。

お問合せ（一社）横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051



### 技術者育成支援事業

「技能士」となるための、技能検定の受検費用を負担した市工連会員企業に対し、受検手数料や受験前に受けた講習会の費用などについて補助しています。

今年度もこの「技能士」になるために受検費用等を負担した企業に対し補助いたします。

※「技能士」は、技能検定に合格した人に与えられる国家資格です。



#### 【拡充】

本年度は、受検不合格者に対して技能検定試験に関する「講習料」を1/3助成いたします。（但し、1社の交付金額の上限は10万円のままで）提出書類は、技術者育成支援事業への申請と同じです。「技能検定に関する講習料」という限定ではありませんが、対象者がいた場合にはご活用ください。※合格発表後に、不合格通知の写しを提出していただきます。

前期の結果・後期の申請が出そろう10月1日に受付を開始しますので、受験票の写しや、領収書の保管等をお願いいたします。

受付は先着順です。（合否確定前でも申請可）申請は令和9年3月15日（月）までとしますが、予算に達した場合締め切ります。

お問合せ（一社）横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051

#### ◆ 会員情報交換 ◆

### 業務省力化システム



### ウェブ・EC

まずは気軽にご相談ください。

### イベント



■ 主要事業  
DX導入支援 ゲーム・フィクション導入支援 イベント・プロモーション支援

■ 主要製品  
ウェブ企画・制作 アプリ企画・制作 コンテンツ企画・制作  
イベント企画・運営 デザイン企画・制作 イラスト企画・制作

Dell Expert Network認定取得!オンライン価格から更に特別値引きできます。



minimo  
おもしろくないモノをおもしろく  
Mintomo株式会社

#### 表紙ページ写真説明

上段左から（株）第一鉸製作所（テクヨコ）、戸塚ものづくり自慢展、（株）オースズ（テクヨコ）、神奈川工業会創立80周年記念式典  
下段左から 横浜青年経営者会総会、（株）鶴見精機、（株）ミナミ技研、東京精密発條（株）

# 横浜市経済局からのお知らせ

中小企業の皆様に支援する厳選メニューをご紹介します。詳細は二次元コードからご確認ください。

## ① 短期特別経営支援資金 ◆お問合せ先 金融課 Tel 045-671-2592

中東情勢等の影響により、原材料価格の高騰や物流の停滞などから、売上高・利益率が減少している中小企業者の皆様に低金利の短期資金としてご利用いただけます。



|         |                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 融資対象者   | 次のいずれかに該当する中小企業者<br>① 中東情勢等の影響を受け、売上高・粗利率・売上高営業利益率のいずれかが5%以上減少<br>② セーフティネット保証5号認定 |
| 融資額     | 8,000 万円以内                                                                         |
| 利率(年利)  | 固定金利 1 年以内 年 1.3%以内<br>1 年超～3 年以内 年 1.6%以内                                         |
| 融資期間    | 3 年以内                                                                              |
| 保証料助成率  | 最大 0.7%(0.6%+宣言割 0.1%)                                                             |
| 助成後保証料率 | 【宣言割適用後】保証料ゼロ～1.2%、【宣言割なし】保証料ゼロ～1.3%                                               |

## ② カーボンニュートラル設備投資助成事業 ◆お問合せ先 ものづくり支援課 Tel 045-671-3489

### ア LED 化支援助成金

【対象設備】電気工事を伴い器具本体と光源部を一体で更新する LED 照明を設置するもの

【募集期間】2026 年 10 月 30 日(金)まで (予算額に達し次第、受付を終了します)

【助成限度額】50 万円

### イ 太陽光発電導入支援助成金

【対象設備】太陽光発電設備、蓄電システム(太陽光発電設備と併せて設置するもの)

【募集期間】2026 年 10 月 30 日(金)まで (予算額に達し次第、受付を終了します)

【助成限度額】500 万円

### ウ 省エネルギー化支援助成金

【対象設備】業務用空調、業務用給湯器、業務用冷凍冷蔵設備、高性能ボイラ、変圧器、産業用モータ、生産設備、LED 照明※、デマンドコントローラー※ (※は省エネ診断受診コースのみ)

【募集期間】2026 年 10 月 30 日(金)まで (予算額に達し次第、受付を終了します)

【助成限度額】簡易申請コース:上限額 100 万円、省エネ診断受診コース:上限額 300 万円



## ③ 展示会出展費用助成金 ◆お問合せ先 中小企業振興課 Tel 045-671-4236

【対象者の主な要件】中東情勢の変化や米国の関税措置等による影響を受ける市内中小企業

【助成対象経費】国内展示会への出展にかかる費用

(出展者数が800社又は来場者数が15,000人以上の展示会が対象)

【募集期間】2027 年 2 月 24 日(水)17 時まで ※原則、展示会出展日の1か月前までにご申請下さい。

【助成限度額】30 万円 【助成率】1/2



身近な省エネ活動や脱炭素化の取組について、宣言しませんか？  
メリットもたくさんあります。「横浜市 脱炭素取組宣言」で検索！



Asahi



## 木のように、CO<sub>2</sub>を食べる自販機。

「自販機でCO<sub>2</sub>を減らせたらおもしろいよね」

社内の何気ない会話から、日本初の「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」は生まれました。

実は自動販売機は、飲み物を冷やしたり温めたりするために、周りの空気を吸い込んでいます。

そこで内側に、工場の廃棄物を再利用してできた、CO<sub>2</sub>を吸収する素材を搭載。

いつも街にしながら、CO<sub>2</sub>を集めているのです。

その働きは、1年あたり1台でなんとスギの木20本分（林齢56～60年）。

しかも吸収したCO<sub>2</sub>は、資源として社会に役立てることができます。

街に森を増やすように、この自動販売機を増やしていけたら。

100年先の未来にも、ワクワクと笑顔をつなげていくために。

自販機は、自販木としてもがんばります。

アサヒ飲料は、脱炭素社会の未来へ、  
できることを自動販売機1台1台から。

③ のんだあとはリサイクル 「カルピス」「CALPIS」はアサヒ飲料(株)の登録商標です。 ※画像はイメージです。

100 YEARS GIFT

100年のワクワクと笑顔を。

アサヒ飲料